

8日目 7月24日

会 場: 県立浜山球場

第1試合		～準々決勝～																
T E A M	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	R	H	E
益田東	0	0	0	0	0	2	0	1	0							3	9	0
安 来	1	0	0	0	0	0	0	0	0							1	7	1
(投手-捕手)																		
・ (益)	高良 - 西脇																	
・ (安)	吉田慎 - 原田																	
(長 打)	(二塁打)						(三塁打)						(本塁打)					
・ (益)	前嶋、西脇						富永											
・ (安)	原田																	
(審判) [球審] 流田		[一塁] 城市					[二塁] 日野岡					[三塁] 福岡						
(チーム成績)																		
チーム	打	安	点	二	三	本	振	四	犠	盗	残	併	守備	失	暴	ボ	逸	打妨
(益)	34	9	3	2	1	0	8	2	2	1	8	0		0	0	0	0	
(安)	31	7	1	1	0	0	4	0	2	0	5	1		1	0	0	1	
「益田東が集中打で逆転勝ち」																		
<p>安来が1回裏に立ち上がりベルト近辺に集まった所を、1番原田の右越2塁打と外野フライで3塁に進め、4番大江の右前適時打で先制点を挙げた。益田東も早めに反撃をしたかったが、両先発が殆ど走者を出すものの試合を締め試合を折り返した。この大会は先制点で逃げ切る試合が多いが、益田東は集中打での逆転があるだけに次の1点が重くなると感じた。</p> <p>この重要な1点を奪ったのは益田東だった。6回表に安来先発の吉田の投球が少し高くなると、4番藤波の速いゴロを遊撃手がトンネルし出塁すると、直後の5番富永の中越適時3塁打で同点に追いついた。さらに四球で1・3塁とすると、代打高田の中前適時打で一気に逆転した。更に8回表に直球の球威がかなり落ちてきた所を攻め、安打と犠打で1死2塁を作り、5番富永がこの試合2打点目となる右前適時打を放ち突き放した。</p> <p>対する安来も8回裏に2本の安打で1死1・2塁のチャンスを作り、3番山坂が大きな打球を放つが相手左翼手の好守に阻まれ併殺で好機を逃した。この試合を決める好プレーだった。</p>																		

